

会議名	第2回厚木市観光振興推進委員会
日時	令和元年10月10日(金)13時30分～15時10分
場所	厚木市役所本庁舎3階特別会議室
出席者	出席者 11人 厚木市観光振興推進委員会委員7人 オブザーバー1人(一般社団法人厚木市観光協会専務理事兼事務局長) 事務局3人(観光振興課長、観光振興係長、観光振興課主事)

会議の経過は次のとおり。

1 開 会 観光振興課長

2 挨拶 委員長

3 案 件 議事進行：委員長

(1) 令和元年度事業の実施状況について 説明：事務局、オブザーバー  
資料1に基づき説明。

観光協会実施事業について説明。

**【意見等】**

(委員長) 小田急連携事業で中吊り広告を実施するとあるが全車両に掲示する予定か。また、小田急と連携することのメリットは。

(オブザーバー) 中吊り広告については、全車両に掲示する。また、一週ごとにデザインを変え二週にわたって展開する。小田急ポイントカード事業と連携することにより、小田急沿線各駅構内におけるポスター掲示及びリーフレット配架、全車両中吊り広告の多額の費用が抑えられる。伊勢原、秦野、小田原は既にこの事業を活用している。今後観光事業者に意見を聞き今後の展開について検討していく。

(2) 令和2年度事業について 説明：事務局  
資料2に基づき説明。

**【意見等】**

(委員長) 新規事業について詳しく説明を。

(事務局) レンタサイクル運営補助金について、観光地でのサイクリングを身近に感じてもらうために、七沢・飯山を拠点にレンタサイクル事業を実証実験の要素も含み展開していきたい。

(委員長) 事業を展開する上で推奨ルートが記載されたサイクリングマップは考えているか。

(事務局) 推奨ルートを記載したサイクリングマップについては、過去に作ったことがある。しかし、今回の事業については、ロードバイクなどのサイクリストをターゲットにするわけではなく温泉地の観光客に様々な観光スポットを効率的に回るために実施する事業として考えているので、そういった内容のマップ作成もあわせて検討していく。

(委員) 市内でレンタサイクルを実施している事業者はいるのか。ホテルで問い合わせがあ

るが把握していないため、ありませんと案内している。私は旅行に行った際にその観光地でレンタサイクルを活用するのであったらいいと思う。

(事務局) 市内に実施している事業者はあるが、事業規模はそこまで大きくはないと思われる。宿泊施設でのレンタサイクルの需要はどういった状況か。

(委員) 外国人宿泊者がレンタサイクルをどこかで利用できないかとたまに相談を受けていた。

(オブザーバー) 次年度レンタサイクルの事業をやるのはいいともうが、宿泊事業者等にヒアリングはしたのか。

(事務局) この事業のためだけにヒアリングは行っていないが、会議の席などでレンタサイクル事業について、話題を上げたところ、概ね好感触であった。

(委員長) 実施する拠点はどこを想定しているか。

(事務局) 観光案内所を想定しているが、コンビニなどでシェアサイクルを実施している事業者もあるので今後検討していきたい。

(オブザーバー) 湘南地域自転車観光推進協議会が実施しているシェアサイクルの事業が紹介されていた。そこではコンビニと包括協定を結んでいて広域でのシェアサイクルを実施している。今後視察を検討してはどうか。

(委員長) 湘南地域は比較的平坦であるが、厚木の観光地は勾配がある道が多い。電動自転車のレンタサイクルを想定しているが、メンテナンスなどは問題ないのか。

(事務局) 電動自転車の性能も日々向上しており、長距離の運転でもバッテリーの心配はあまりないと想定している。飯山・七沢地区から宮ヶ瀬方面を目指していただきたい。

(委員) 七沢地区の観光施設は地区内に分散されているので、レンタサイクルの拠点があれば旅館の中で終わってしまうのではなく各施設を回れるのではないか。

(委員) 飯山地区ではレンタサイクルの需要はほとんどない。今後そう言った意見があれば報告していく。飯山・七沢間の移動手段としては使えるのかなと思う。

(委員) レンタサイクルのイメージとして、あまり長距離の移動には適さないのではないか。やはり温泉旅館などに貸し出して旅館間の移動や観光施設への移動手段として提供するのがよいのではないか。

(事務局) 七沢・飯山を拠点に、宮ヶ瀬や大山を目指してもらうイメージで事業を検討している。また、温泉旅館にレンタサイクルを運営してもらうのも実証実験の結果などで検討していきたい。

(委員) 料金の設定はどれくらいを想定しているか。また、時間貸しか日貸しか。

(事務局) 時間貸しを想定しているが、金額の設定は今後検討していく。

(委員長) ほかに事業等で意見等ないか。

(委員) 来年度の鮎まつりの実施時期は決定しているのか。

(事務局) 次年度の開催について、東京オリンピック・パラリンピックが7月から9月にかけて開催されるが、厚木警察と協議をし例年通りの警備体制を維持するため、秋の開催を予定している。また、警察だけでなく河川を管理している神奈川県や、関係団体とも協議し、秋のイベントと重ならないように調整を進めている。最終的には、10月31日に開催するあつぎ鮎まつり実行委員会において決定する。

(委員) 8年前くらいに、秋に花火大会を実施したと思うがどのように実施したか。

- (事務局) その年については、秋にあつぎ国際大道芸と同日に花火大会を開催した。催物などについては、8月に実施していた。
- (委員長) ほかの市町村等が開催するイベントと重なってしまい、実施が難しくなるのではないか。
- (事務局) 他のイベントとも調整をしているが、県下のイベントにおいて鮎まつりの警備体制以上は少なく、例年どおり実施するイベントもあれば、鮎まつりとは別の時期に実施するイベントもある。警察と協議を進めているが、秋の開催は可能であると返事をいただいたうえで日程調整を進めている。
- (オブザーバー) 仕方なく秋に実施するというマイナスイメージではなく、秋にやったことによってプラスのイメージがつくように実施していただきたい。
- (委員) 次年度の鮎まつりの規模は縮小するのか。特にダンスレジェンドなどの催しについて。
- (事務局) 事務局として規模の縮小は考えていない。各催物の主催団体と今後協議を進めていく。
- (3) 観光振興に係る意見交換について
- 【意見等】**
- (オブザーバー) 観光協会ではここ数年様々な印刷物を作成して展開している。パンフレット等を作成している際に様々な意見をいただくが、やはりスマートフォンのアプリを活用できないかという意見が多い。紙の媒体も大事だが、今後アプリに移行する手段やSNSの有効活用も検討していく必要がある。観光協会のホームページも見直し、コンテンツの整理も図っていききたい。
- (委員長) 観光協会のホームページは、スマートフォンで見やすく作られていると思う。厚木に関してはもっと動画を活用したマーケティングをしてはどうか。
- (オブザーバー) 観光協会では動画の作成に着手しているが、しっかりした番組作成よりも、短編的なSNSにアップされるような動画などを活用していききたい。市内の事業者を回って様々な動画をあげていききたいと考えている。また、市と相談し観光情報を観光協会ホームページに一本化しようと試みている。
- (委員長) あゆコロちゃんのSNSと連携は図れているのか。
- (事務局) 観光協会事業を始め、市内イベントなど全庁的に情報を収集し発信している。
- (事務局) 鮎まつりの花火会場に行かれた委員がいられたらご意見を伺いたい。
- (委員) 会場内の道が広がった、トイレが整備されていた。また、花火が終わった後のスターライトはとてもきれいだった。アナウンスの声が少し聞きづらかった。
- (事務局) 協賛席が広がった関係でスピーカーの個数が足りていなかった。次年度以降個数を増やすなど対応していく。
- (委員) 会場内のトイレの案内をしている方がとてもテキパキやっていた。会場内の席の枠や碁盤の目のような囲いを作ってはどうか。
- (委員長) 会場内に目印をつくってはどうか。
- (事務局) 今後検討していく。
- (委員長) 花火大会終了後の混雑具合はどうだったか。また、会場内の足元が暗く感じた。

(事務局) 本厚木駅については、一時的に規制をかけたがすぐに規制を解除し大きなトラブルはなかった。会場内の足元については検討していきたい。

(委員) 市民が気軽に市内の温泉に行けるような手形みたいなものを作ってはどうか。

(委員) 過去に市が企画し温泉手形を発行し実施したが、土日に実施した関係で旅館へのクレームにつながった。平日であれば協力ができるかもしれない。

(委員長) 時間帯によって料金体系を変えることは可能なのか。温泉のスタンプラリーなど実施してはどうか。

(委員) あくまで旅館なので宿泊客を優先している。市内の旅館には日帰り入浴に力を入れている旅館もあるが、旅館それぞれの意向があるため、市で企画していただければ協力していきたい。

(事務局) 11月の広報あつぎで観光協会事業、小田急連携プロモーション事業を特集で掲載する。

#### 4 その他

事務連絡：事務局

(事務局) 第3回の会議は、2月を予定している。

#### 5 閉 会